

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

| | |
|--------|--------------------|
| 所管課 | 文化財課 |
| 評価対象期間 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日 |
| 施設種別 | 文教施設 |

1. 指定概要

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|--------|----------|-------------|-----------------------------|--------------------------|-----|
| 施設概要 | 名称 | 大分市海部古墳資料館 | | | | | | |
| | 所在地 | 大分市大字里646番地の1 | | | | | | |
| | 設置目的 | 亀塚古墳をはじめとする古墳資料（古墳の出土品その他古墳に関する資料をいう）を広く市民の観覧に供し、もって市民の教育、学術及び文化の向上に寄与すること。 | | | | | | |
| 指定管理者 | 施設の建築年 (又は事業開始年) | 平成11年度 | | | | | | |
| | 名称 | 坂ノ市地区社会教育関係団体連絡協議会 | | | | | | |
| | 代表者名 | 会長 指原 健一 | | | | | | |
| 指定管理業務の内容 | 所在地 | 大分市坂ノ市西1丁目10番6号 | | | | | | |
| | 指定管理業務の内容 | ①大分市海部古墳資料館の維持管理・案内業務 ②国指定史跡亀塚古墳の案内及び保全管理のための見回り ③研修室の使用許可に関する業務 ④研修室使用料の徴収業務 ⑤管理施設の利用促進、情報発信に関すること ⑥その他大分市海部古墳資料館の管理に関して教育委員会が必要と定める業務 | | | | | | |
| | 料金体系 | 入館料は無料 研修室使用料 1時間につき 260円 1. 使用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその使用時間が1時間未満のときは、1時間とする。 2. 冷暖房期間中は、上記により算定した使用料の4割に相当する額（その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）を加算する。 | | | | | | |
| 利用料金制 | 未導入 | 選定方法 | | | 任意指定 | | | |
| 指定期間 | 平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間） | | | | 導入年度 | 平成18年度 | | |
| 利用者数（単位：人） | | | | | R4年度 目標④ | 19,000 | 達成率 ①/④ | 72% |
| 17年度② (直営時又は 制度導入1年目) | 30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度③ | R4年度① | 17年度比 ①-② | R3年度比 ①-③ | |
| 10,804 | 21,898 | 18,929 | 13,381 | 12,960 | 13,700 | 2,896 | 740 | |
| 管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円） | | | | | | | | |
| 直営時 管理運営経費(b) | 前指定期間 最終年度29年(c) | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度(a) | 直営時(初年度)比較 (a) - (b) | 前指定期間比較 (a) - (c) | |
| 5,495 | 5,016 | 5,077 | 5,124 | 5,124 | 5,124 | ▲ 371 | 108 | |
| 利用者満足度 (%) | 満足 | | やや満足 | 配置職員数(人) | 直営時又は導入1年目 | 令和4年度 | | |
| | 73 | | 17 | | 常勤2人(繁忙期3人) | 常勤2人(繁忙期3人) | | |

2. 評価結果

| | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 評価項目及び評価のポイント | | | | | | | | |
| 1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組 | | | | | | | | |
| (1) 施設の設置目的の達成 | | | | | | | | |
| ①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。 | | | | | | | | |
| ②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。 | | | | | | | | |
| ③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。 | | | | | | | | |
| 【実績】 ①亀塚古墳と海部古墳資料館を史跡公園として一体的に活用し、「生涯学習」「教育普及」「憩い・癒し」「史跡を生かした地域活性化」の場として、市民の利用が図られている。 ②市民センター、公民館、学校、駅、郵便局、大分バス、大分交通、臼杵市歴史資料館等にパンフレットを設置することにより、市内外や様々な年齢層の方々への広報を行っている。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により利用者目標である19,000人には達しなかったが、自主事業の回数増加や、「海部のまつり」の開催に伴い歴史資料館と協力して企画展を催す等の取組を行い、昨年度より740人の増加となった。 | | | | | | | | |
| (2) 利用者の満足度 | | | | | | | | |
| ①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | | | | | | | | |
| ②サービスの質や量は向上しているか。 | | | | | | | | |
| ③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。 | | | | | | | | |
| ④利用者への情報提供が十分にされたか。 | | | | | | | | |
| 【実績】 ①令和4年度に行われた利用者アンケートでは、施設の全体的な評価について「満足」「やや満足」の合計が9割以上であり、利用者の満足は得られていると言える。 ②団体の利用者だけでなく、個人で来館された方にも展示内容等について丁寧に説明をしている。また案内業務の質を高めるために職員研修等も実施している。 ③利用者からの苦情・意見・要望等は、月次の業務報告書や年3回実施している利用者アンケートを通じて報告を受けている。「丁寧な説明により、古墳のことがよく分かりました」、「大変勉強になりました」等職員のガイドについて好意的な意見を多く受けており、特に苦情はみられなかった。 ④来館者へのガイダンスをはじめ、海部古墳資料館独自のパンフレットを配置するなど、館の利用者への情報提供に努めた。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 2 効率性の向上等に関する取組 | | | | | | | | |
| (1) 経費の低減等 | | | | | | | | |
| ①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。 | | | | | | | | |
| ②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 | | | | | | | | |
| ③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。 | | | | | | | | |
| 【実績】 ①制度導入前(H17)と比較して、令和4年度に至っては運営費を371千円削減した。 ②清掃、警備、設備の保守点検等、施設の維持管理については、すべて文化財課の直営で実施した。 ③コピー用紙の裏面活用などできる限りの経費削減に努めた。 | | | | | | | | |
| (2) 収入の増加 | | | | | | | | |
| ①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。 | | | | | | | | |
| 【実績】 ①収入を増加させる取組について、指定管理者と協議を行ったが、海部古墳資料館が教育施設であり、生涯学習の場であることを踏まえ、具体的な取り組みには至っていない。今後、どのような収益事業を行うことが可能なのか検討していきたい。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組 | | | | | | | | |
| (1) 施設の管理運営の実施状況 | | | | | | | | |
| ①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。 | | | | | | | | |
| ②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。 | | | | | | | | |
| ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 | | | | | | | | |
| 【実績】 ①資料館の管理運営については、常勤2名に加え協力者8名での勤務体制であり、適切な人員配置であった。 ②令和4年度については、接遇研修等を計11回館内で実施し、人権に関する外部の研修を計9回受講した。 ③11月に開催された「海部のまつり」では、海部のまつり振興会の一員として、地域の企業や各種団体等との協働を図った。 | | | | | | | | |
| (2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など | | | | | | | | |
| ①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。 | | | | | | | | |
| ②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。 | | | | | | | | |
| ③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。 | | | | | | | | |
| ④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 | | | | | | | | |
| ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 | | | | | | | | |
| ⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。 | | | | | | | | |
| 【実績】 ①関係法令の遵守等については遺漏はない。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため来館者に求めている連絡先記入用紙等について保管場所を厳密に定めるなど、個人情報を保護するための対策が適切に実施されている。 ③入館や案内にあたり、特定の団体や個人に対して優遇もしくは差別を行わないようにしており、公平かつ平等な利用が確保されている。 ④毎月明確な会計報告がされており、適正であると判断される。 ⑤館内での不具合箇所については気付き次第すぐに、文化財課への報告があり、文化財課で修繕に対応した。また緊急時に備え、救命救急講習の受講や消防訓練を行っており安全対策は適切に実施されている。 ⑥「安全管理マニュアル」を作成し、適切な対応が取れる体制を確保している。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 【総合評価】 | | | | | | | | |
| 【所見】 令和4年度については、「勾玉作り教室」、「やさしい文化財の見方・楽しみ方講座」といった自主事業の回数増加や、「海部のまつり」の開催に伴い歴史資料館と協力して企画展を催す等、利用者数増加に向けた取組がなされていた。また、館内での従事者研修の開催や、外部の人権研修の積極的な受講等、館の魅力向上に向けた取組も継続して行われていた。以上のことに加えて、令和4年度についてもアンケートでの職員の対応に対する満足度が高いことから、適正な管理運営がなされていると評価できる。 | | | | | | | | |
| 【今後の対応】 指定管理者による管理運営については令和4年度をもって終了し、以後は市の直営により管理運営を行います。 | | | | | | | | |